

## 第18回山形市中心市街地活性化戦略本部会議議事録

1 開催日時 令和3年9月21日（火）午後3時00分～午後4時00分

2 会場 山形商工会議所 5階 会議室

3 出席者

(1) 本部員8名

山形市長		佐藤 孝弘
山形商工会議所	会頭	矢野 秀弥
山形市中心商店街街づくり協議会	会長	船山 隆幸
山形青年会議所	理事長	三浦 真守
山形大学	教授	山田 浩久
東北芸術工科大学	教授	馬場 正尊
城下町やまがた探険隊	隊長	新関 芳則
NPO 法人やまがた育児サークルランド	代表	野口 比呂美

(2) 山形市中心市街地活性化戦略推進コーディネーター

まちづくりプラン研究所	代表	牧 昭市
-------------	----	------

(3) オブザーバー

山形市副市長・山形エリアマネジメント協議会副会長	井上 貴至
--------------------------	-------

(4) 事務局15名

商工観光部長、山形ブランド推進課長、山形ブランド推進課課長補佐、  
街なか・商業グループ員（3名）、山形商工会議所（6名）、  
山形エリアマネジメント協議会（3名）

4 傍聴者

記者：4名

5 内容

(1) 報告

・令和3年度の事業の進捗状況について

(2) 協議

・令和4年度の事業の進め方について

6 資料の名称

- ・資料1 令和3年度の事業の進捗状況
- ・資料2 令和3年度相談者出店マップ
- ・資料3 令和3年度業種構成調査
- ・資料4 令和4年度の事業の進め方について

## 7 議事録

### (1) 開 会 (事務局)

### (2) 山形市長あいさつ

新型コロナウイルス感染症が与える影響は中心市街地においても大きいと感じている。例年予定されている多くのイベントが中止になった。外出自粛により飲食業、宿泊業、観光サービス業をはじめとする多くの産業が打撃を受けている。

政府はワクチン接種を前提とした社会・経済活動の再開を検討している。山形市は県庁所在地、政令市、特別区の中で、ワクチンの接種率が全国1位であると新聞報道があった。引き続きワクチン接種に力を入れていくとともに、今は辛抱し、次の展開を見据えて準備を進めていきたい。

一方で中心市街地の明るいニュースもある。7月には七日町エリアに「七日町ルルタス」がオープンしたことでエリアの魅力が向上した。

また旧大沼山形本店については、前所有者との話し合いが完了し、活用について具体的に検討ができる状況となった。現在は長期的な開発を見据え、サウンディング型市場調査を実施している。多くの企業から当該エリアに関心を持っていただいている。長期的な開発に向けた検討を行う間、建物等を有効に活用する方法を考えていく。

今日は今年度事業の進捗状況の報告と、来年度事業の進め方についての協議を行う。皆様から忌憚のない意見をいただきたい。

### (3) 議事録署名人の指名 (本部長)

矢野 秀弥 本部員

船山 隆幸 本部員

### (4) 報 告

座 長	内容について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	「令和3年度の事業の進捗状況について」説明。 (約10分)
座 長	質問、意見等はあるか。
本部員一同	なし

(5) 協 議

座 長	内容について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	「令和4年度の事業の進め方について」説明。 (約10分)
座 長	質問、意見等はあるか。
本 部 員	資料1の4ページに山形市中心市街地エリアの商店街の配置図がある。空き店舗調査を実施しているエリアはこの配置図で示されているエリアとは異なるのか。
事 務 局	空き店舗調査は山形市中心商店街街づくり協議会加盟の9商店街と、旅籠町新道商店会、七日町新道商店街振興会、七日町仲通り商店会のエリアのうち、通りに面した建物の1、2階部分の店舗を調査している。そのため、はながき通り飲食店組合エリア等は調査の対象ではない。
本 部 員	調査対象になっていない、はながき通り飲食店組合に所属する飲食店は、24件ほど休業状態で営業再開の見通しが立たない状態であると伺っている。本調査の数字に反映されない空き店舗の状況についても把握に努めていただきたい。
事 務 局	飲食店等が休業から廃業する流れが出来つつあることを危惧している。調査結果に現れない情報も迅速に把握できるよう努める。
本 部 員	令和3年度事業の進捗状況で紹介があった「すずらん通り・七日町大通り道路の広場化社会実験（やまがた Re-v-ing）」は、山形県の感染拡大防止特別集中期間と重なってしまったものの、周辺の事業者や訪れた方からは概ね好評だったと伺っている。現場での様子をお聞きしたい。 また、昨年度はテラス化事業を実施し、こちらも好評だったと伺っている。令和4年度も道路空間を活用した事業を実施するのか。
本 部 員	商店街として社会実験実施についてのPRはしていなかったが、訪れた方からは雰囲気が良い等の前向きな声をいただいた。新型コロナウイルス感染症の影響や天候に恵まれない日もあったが、お客様が通りをそぞろ歩きする様子や、子連れの方が普段店内で飲食することに馴染みがない店のテラス席を活用し、

食事を楽しんでいる様子がかがえ、商店街に訪れる客層の広がりを感じた。来年度以降も内容を充実させ事業を実施していきたい。

事務局 今年度も旭銀座のれん会や七日町御殿堰において、テラス化事業を実施している。市では今般の社会実験の結果を受けた国の施策を注視ししながら、道路占用許可の申請補助等、積極的に商店街等の事業をサポートしていきたい。

本部員 テナントリーシング実施に向けた人材育成の項目の中で、企業との関係性の構築が取組としてあるが、具体的にどういったことをするのか。

事務局 出店意向調査の結果等を踏まえた企業とのやり取りを通じ、関係性を構築していくことを考えている。  
調査では企業から出店へ前向きな回答が得られなかった場合でも、「なぜ山形市に出店しないのか」や「どういう条件であれば出店するのか」といった情報が得られると考えている。山形市の現状を把握する目的で聞き取り等を通じ、深掘りしていきたい。  
また、山形市として出店してほしい企業とは、今回の調査をきっかけに、まちづくりの進捗等の情報提供を行いつつ、企業の出店条件の変化等の情報を引き出しながら、密にやり取りを重ねていきたい。将来的な出店へ繋がる可能性があると考えている。

本部員 企業との関係性の構築が人材育成に繋がるのか。

事務局 テナントリーシングでは、こういった調査を通じた関係性の構築をきっかけに、最終的には企業へ訪問し、山形市でどこまで支援できるかといった交渉や調整をすることになる。企業とのやり取りを通じ、そういった業務を担える人材を育成していく。

座長 他に質問、意見等はあるか。

本部員一同 なし

座長 次に、令和3年度事業の進捗状況の報告や令和4年度の事業の進め方の協議を受け、本部員のご意見をお伺いする。

- 本 部 員 仙台市にある「仙台国際ホテル」の宴会事業からの撤退や、「勝山館」休業のニュースは非常にショッキングであった。新型コロナウイルス感染症の影響の大きさを物語っている出来事である。
- 山形市においても「千歳館」が9月末より休業するとのことで、料亭や舞子といった伝統文化の継承に大きな影響があるのではないかと危惧している。「千歳館」は建築物としても価値のあるものである。今後の千歳館の在り方について、市ではどのように考えているのかお伺いしたい。
- 座 長 市としても料亭文化の継承や舞子の活躍の場が失われてしまうことを危惧しており、事業者から聞き取りを行っている。「千歳館」の今後の在り方については、重要課題と認識しており、必要な取組みを実施していきたいと考えている。
- 本 部 員 旧大沼山形本店の利活用については、山形市より進捗について逐一報告があり、中心商店街街づくり協議会においても関心の高い事業である。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、飲食店のみならず商店街も疲弊してしまっている状況だが、1日でも早い事業の推進により中心市街地に明るい話題を提供してほしい。
- 本 部 員 青年会議所で花火大会を YouTube で配信する取組を今年度初めて実施した。予想より多くの方にご覧になっていただいた。これまでの花火大会の歴史があり、ご覧になる方が見る価値があると思ったことが大きな要因と考えている。
- 情報が広くお客様に届くことが、重要であり難しいことである。街なかの情報発信においても、ご覧になっていただいた方に還元される価値ある何かがあるからこそ、その情報が広まっていくことを認識し、情報発信をしていただきたい。
- 本 部 員 令和4年度事業では、より多くの方が参加する仕組みづくりを意識していただきたい。
- 情報を発信しているSNSのフォロワー数が伸び悩む原因は、投稿数の少なさにあると思う。事務局だけでは限界がある。大学生等の若者がよく利用するコンテンツと絡めて、若者自身にも情報発信をしていただき、それを拾い上げて情報発信する仕組みを作ってはどうか。投稿数が増え、よりニーズに沿った情報発信ができるようになると思う。
- また、大学生からは街なかでサークルの紹介や新入生歓迎会

をしてみたら面白いのでは、という意見もあった。若者の意見を汲み実現できる街なかであってほしい。

本 部 員 Q1プロジェクトの進捗状況とその中で見えてきた中心市街地の課題について話したい。

現在、リノベーションとテナントリーシングを行っている。クリエイティブな内容に共感し出店に関心を持っていただくことが多くあり、この分野における山形の可能性を感じている。また、飲食・物販店舗の出店も大切だが、中心市街地は働く場所として整備していくことも重要だと感じている。

課題としては、駐車場が不足していることが挙げられる。少し遠い場所に車を停めて街なかを歩く仕組みを作っていくべきである。駐車場の位置と街なかを歩く目的地作りのバランスが重要と考える。

来年9月の新施設のオープンに向け、引き続き中心市街地の活性化に取り組むとともに、創造都市の拠点としてQ1プロジェクトを推進していく。

本 部 員 新型コロナウイルス感染症の影響を多くの事業者が受けている。特に歴史ある建造物の損失は大きい。なるべく早い対策が必要である。

今後の社会・経済活動の再開については、ウィズコロナ、アフターコロナの2つの方向性が考えられる。方向性を見定めていくとともに、どちらへも対応できるよう検討してほしい。

七日町大通りで実施した道路空間を活用した社会実験では、しつらいに課題があると感じた。居心地の良い空間創りを実現するため、そういったことにも配慮していただきたい。

「七日町ルルタス」のオープンにより、さらに七日町御殿塚が良い空間になったと感じている。2階については空き店舗となっているが、入居するテナントについても、エリアの雰囲気合ったものになるよう配慮してほしい。

本 部 員 エリアマネジメント協議会では庁内外のネットワークの構築といった人との繋がりを重視していると感じている。コロナ禍においては人と人との繋がりが大切になる。協力していきたい。

今後ワクチン接種が進んでいき段階的に様々な制限が緩和されていく中で、どのような方法で中心市街地を活性化するかについて検討していく必要がある。

中心市街地に暮らすという観点から、まちづくりを推進してほしい。子育てをしている若い世代が住んで楽しめる環境を作っていただきたい。

コーディネーター	<p>他の都市ではテーマを絞り、大学生、高校生に情報発信を1年間任せるといった試みがある。山形市でも参考になるのではないか。</p> <p>いくつかの地方都市の不動産関係者より、来年1月頃から新規出店の動きが活発になると伺っている。出店サポートセンターへの相談件数は、今年に比べ来年の方が多くなることが予想される。テナントリーシングを推進していくことも重要だが、出店サポートセンターの相談体制も充実させ、街の新陳代謝を活発にすることも大切にしてほしい。</p> <p>山形市としてキャッシュレス決済を導入する目的について、改めて考えていただきたい。支払いが簡単になるだけでは自治体でキャッシュレス決済を導入するメリットは少ない。中心市街地の駐車場がすべて交通系ICカードで支払うことができるようになり、そこから統計データを取得し、まちづくりに活用していくこと等が自治体としてのキャッシュレス決済を導入する目的であると考えている。</p>
座長	他に質問、意見等はないか。
事務局	七日町大通りの広場化社会実験における、しつらいについては多くの方から意見をいただき、次回以降改善していかなければならないことを市の担当課でも認識している。
本部員	城下町やまがた探険隊でQ1プロジェクトの拠点施設付近を通った際、「まなび館」の看板が外れ、山形市立第一小学校の看板が見えるようになっていた。事業の進捗を嬉しく思う。
本部員	Q1プロジェクトは、旧山形市立第一小学校の校舎を使うことにも意味がある。お気づきいただき光栄である。名前をしっかり残していきたい。
座長	他に質問、意見等はないか。
本部員一同	なし
座長	今日は皆様から貴重な意見をいただいた。新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続くが、山形市の商業地の地価は県内で唯一上昇している。多くの関係者の努力のおかげである。山形市としてもエリアマネジメント協議会を筆頭により一層中心市街地活性化に力を入れて取り組んでいく。

(6) その他

座 長

その他ですが、皆さまからありますか。

本 部 員

なし

(7) 閉会 (事務局)